

発行所 東京薬科大学新聞会  
責任者 肥沼龍太郎

六月号

# 学生が四割が権利を放棄

## 執行委員会選挙

### 平成8年度選挙結果

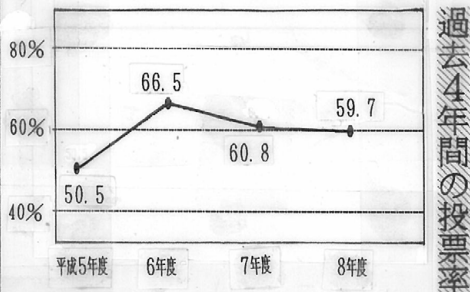
	信任	不信任
平田 快洋	1,537	6
橋本 宗明	1,530	13
安藤 麻美	1,538	5

五月二十日から二十二日の三日間にわたって執行委員会選挙が行われた。その結果、執行委員長に平田快洋さん、副委員長に橋本宗明さん、安藤麻美さんが選出された。総投票数は一五四三票(総有権者数二五八三票)、投票率は五九・七パーセントであった。昨年度の六〇・八パーセントに比べ約一パーセントの落ち込みが見られる。

選挙管理委員長の深津智子さんに今回の選挙の様子を伺った。

「昨年度に比べ、今年度は広報活動を大々的に行い、選挙に対する学生の関心を高めようとした。昨年は行わなかった立て看板の設置、けもの階段下でのビラ配りなどを行ったが、効果は思ったほど出なかった」

前年度における投票率の減少は、約七パーセントであった。今年度の減少はそれほど著しいものではないが、相変わらず学生の選挙への関心は薄いと言えよう。



執行委員長 平田 快洋  
私は、皆さんの学生生活をより有意義なものにしていくと考えています。その第一歩として、学生の声を積極的に聞いていこうと考えております。そのためには私たちがお互いに協力し、話し合っていくかなければなりません。皆さんの中には今の環境に

執行委員会は部室棟の管理や駐車場の使用に関わる重要な機関である。部活動やサークル活動を行っていない学生は関心があり向かない学生はあっても、学生生活をより快適に送れるよう、一人一人が積極的な意見を持つべきである。

選挙管理委員会の広報活動も、選挙の存在を知らせるだけのものから、選挙の重要性を認識させるものへと方向性を変える必要があるだろう。

新聞会では、この度新しく執行委員会役員に選出された三名の方に今後の抱負を伺った。(敬称略)

副委員長 橋本 宗明  
今回の選挙で皆さんの信任を得る事ができました。これから学校や学生の事を考え多くの意見を取り入れていきたいと思っています。

また大学と学生のパイプ役であるこの執行委員会をより行動力のあるものにしていきたいと思いますので、皆さん宜しくお願いします。

副委員長 安藤 麻美  
執行委員会は皆さんからの御意見を取り入れ、学生生活をより円滑にするために活動してまいります。これから一年間委員長と共に新しい活動を進めていきたいと思います。皆さん宜しくお願い致します。

去る五月十一日(土)、体育部門主催のマラソン大会が開催された。当日は暖かな日差しの中、応援者を含め五百人以上が集まり大学は熱気に包まれた。

今大会では二年ぶりにタイムレースが行われた。これは自分で自分の完走タイムを予測し、実際のタイムと比べて誤差がいかに少ないかを競うものである。

毎年恒例となった仮装ランナーは三十名を上回り、浴道を行く人々の注目を集めていた。途中では男子の上位約百名がコースを間違え、順位が逆転するというハプニングも起こった。上位入賞者にはパーベキューセット等の賞品が渡され、参加者にはジュースと大学のオリジナルタオルが配られた。

体育部門長である高橋康広

## マラソン大会

### 結果

一般男子		一般女子	
一位	陸上競技部 陸上競技部	一位	バスケットボール部
二位	陸上競技部 陸上競技部	二位	陸上競技部
三位	陸上競技部 陸上競技部	三位	陸上競技部
四位	陸上競技部 陸上競技部	四位	バスケットボール部
五位	陸上競技部 陸上競技部	五位	バスケットボール部

### 研究室

研究室男子		研究室女子	
一位	理学部 第一薬学	一位	理学部 第一薬学
二位	理学部 第一薬学	二位	理学部 第一薬学
三位	理学部 第一薬学	三位	理学部 第一薬学
一位	理学部 第一薬学	一位	理学部 第一薬学
二位	理学部 第一薬学	二位	理学部 第一薬学
三位	理学部 第一薬学	三位	理学部 第一薬学

### タイムレース

位	氏名	時間	位	氏名	時間
一位	利雄	00:15	一位	利雄	00:15
二位	秀	00:17	二位	秀	00:17
三位	秀	00:17	三位	秀	00:17

## ポテロ展

なんと珍妙な「モナ・リザ」が目の前にある。この作品の前に立ったとき、思わず笑いがこみあげてきました。確か「モナ・リザ」はダ・ヴィンチの代表作の作品で、美女の代名詞とされるので、おかしくないほどの女性であった。しかし、目元の彼女は、どう見ても美女とは言えない。なぜなら彼女が丸々と太っているのだから。

この作品を描いたのは、フェルナンド・ポテロというコロンビア出身の画家である。彼の作品の特徴は「全てが膨らんでいる」ということである。「モナ・リザ」を引き合いに出したので、彼が名画をディフォルメするだけではない。

会場である新宿の三越美術館には彼のオリジナルの作品が百点ほど展示されている。これを読んで興味を持たれた方は、是非とも彼の感性に触れてみてはいかがだろうか。

参加した人達は爽快に汗を流し、この大会を楽しんだようだった。

## 薬味

もうすぐ夏だ。ビールの手前である。コンパでたらふく酒をかつくりたい、吐いた人、泣いた人、暴れた人、眠いだ人など、様々な人間模様を展開されたところだろう。ここらで、ちょっと酒について考えてみよう。●酒と一言でいっていろいろ異なる種類が存在しているのだが、ここではワインについての理解を深めてもらいたい。フランスの核実験強行にもかかわらず、日本のワイン年間輸入量は増加しているというが、それは今まではあまり飲まれていなかったためであり、「日本人は本気で核実験に抗議しているのか」などと憤っていても意味がない。

●ワインは西洋の歴史と密接な関係をもつ続けている。例えば、ハムラビ法典にはすでにワインに関する法律が見られる。宗教的な役割も果たせない。旧約聖書の中で洪水を免れたノアは醸造した地を栽培し、酒を醸造した地である。さらにイエスが赤ワインを自らの血になぞらえた話は余りにも有名である。またワインの代表的な存在であるロマネー・コンティは、ルイ十五世の時代にボンパドール夫人との所有権争いに勝利した宰相コンティ公の名前に由来する。●初めてワインを科学的に分析したのはバスタードールであった。彼は酵母菌が物を発酵させるということを明らかにし、酸敗を防ぐために低温殺菌法を開発してワインの発展に多大な貢献をした。現在、この技術は牛乳などに利用されている。●最近では一本五百円を下回る低価格で気軽に楽しめるようになり、うれしいが、あまり飲めない人も文化としてのお酒を味わってみてはいかがだろうか。(蟹道楽)

# 今年度入部傾向

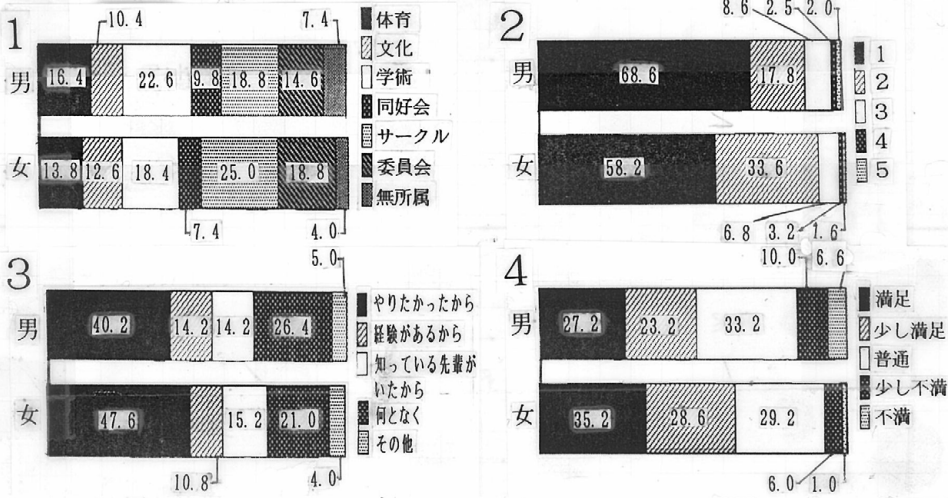
## アンケート結果発表!

先日、一年生に対して入部状況アンケートを行なった。総回答数は三七五枚、回収率は六パーセントであった。このアンケートだけで、全

体の入部状況を把握したとは言えないが、おおまかな傾向はつかめるであろう。結果は左記のグラフの通りである。

「一、あなたは現在、部門・同好会・サークル及び委員会などの団体に所属していますか?」という質問に対して男子は学術・サークル・体育、女子はサークル・委員会・学術の順に多かった。男女共にサークルは自由で楽しいというイメージが強かったのか、他に比べて人気が集まったよう

回答者数 男 206人 女 189人 合計 395人



「二、幾つ入っていますか?」という質問に対しては、男子の六九パーセント、女子の五八パーセントが一つだけと答えている。その一方で女子は二つ以上の部門に所属している人の割合も多く、積極的に大学生活を楽しもうとする姿勢がうかがわれる。

「三、クラブ・委員会などに入った理由は?」という質問に対して、男女共に「やりたかったから」と答えた人が半数近くいた。しかし、その反面「なんとなく」と答えた人も多かった。大学に入ったばかりでやりたい事がはつきりせず、とりあえず入ってみようと考えた結果である。他には「雰囲気が良い」「友達が多いから」なども見られた。一方、無所属の人も八パーセントいた。入らなかった理由は、「忙しすぎる」「面倒だから」「資金不足」「家が遠い」など様々であった。

「四、入った後の満足度はどうですか?」という質問に

阪神大震災の復興資金を遙かに超える、六千八百五十億円以上もの国民の税金をつぎ込む事になった住専問題。事情が込み入っているために、我々にはとつきにいくかもしれない。しかし、国民全員が民間企業の借金の肩代りを強いられると云う事を考えれば、大いに興味を持つべき問題であると思

そもそも住専という組織は、大手都市銀行(以降、母体行と称す)によって設立された住宅ローン融資を専門に取り扱う金融機関のことで、正式な名称は「住宅専門金融会社」という。設立当初は本来の業務のみ

「一、あなたは現在、部門・同好会・サークル及び委員会などの団体に所属していますか?」という質問に対しては、男子は学術・サークル・体育、女子はサークル・委員会・学術の順に多かった。男女共にサークルは自由で楽しいというイメージが強かったのか、他に比べて人気が集まったよう

## 住専問題

こうして、母体行との競合に敗れた住専七社は利益を追求するあまりに本来の業務である住宅ローン融資を捨て、借れない不動産融資へと進出していった。結局この融資の失敗が住専の崩壊を招き、結果として莫大な不良債権を抱

行、農林系金融機関大口借り手等住専から甘い汁を吸い続けてきた関係者達への責任追求は、まだ始まったばかりだ。

だからこそ我々は、本問題に関する今後の捜査に望みを託す一方、検査に対して不当な圧力が加えられないように見守って行くべきではないだろうか。

## 学内展

毎年恒例の学内展が文化部門の主催で行われる。日時、場所等は左記の通りである。学内展は形式こそ春展と変わらないが、新たに入学した一年生の新鮮な作品が展示されることに大きな違いがある。

ところで、新入生は自分の思い通りの学生生活を送れているだろうか。予想以上に難しい勉強や思いの外の金欠、そして金以上に少ない自由な時間に頭を悩ませている人は意外に多いのではないかと。そんな人こそ芸術に触れることが必要なのかもしれない。芸術が身近に感じられる機会が東葉大では春展、学内展と二回ある。春展を見逃してしまつた人には、ぜひとも観に行くことをお勧めする。

「一、あなたは現在、部門・同好会・サークル及び委員会などの団体に所属していますか?」という質問に対しては、男子は学術・サークル・体育、女子はサークル・委員会・学術の順に多かった。男女共にサークルは自由で楽しいというイメージが強かったのか、他に比べて人気が集まったよう

「二、幾つ入っていますか?」という質問に対しては、男子の六九パーセント、女子の五八パーセントが一つだけと答えている。その一方で女子は二つ以上の部門に所属している人の割合も多く、積極的に大学生活を楽しもうとする姿勢がうかがわれる。

「三、クラブ・委員会などに入った理由は?」という質問に対して、男女共に「やりたかったから」と答えた人が半数近くいた。しかし、その反面「なんとなく」と答えた人も多かった。大学に入ったばかりでやりたい事がはつきりせず、とりあえず入ってみようと考えた結果である。他には「雰囲気が良い」「友達が多いから」なども見られた。一方、無所属の人も八パーセントいた。入らなかった理由は、「忙しすぎる」「面倒だから」「資金不足」「家が遠い」など様々であった。

「四、入った後の満足度はどうですか?」という質問に

## 御意見箱

新聞会では、学生課前にある郵便物入れの上に御意見箱を設置しています。

紙に取上げてほしい話題や、新聞会に対する意見などを自由に紙に書き、御意見箱に入れてください。寄せられた意見をもとに記事の内容を検討し、読者の方々により親しまれる紙面作りを目指してまいります。

多くの方が、御意見箱を利用されることを期待しています。

一九四号の新執行事記事において、柚木オリエンテーションと春展の紹介文章が入れ替わってしまいました。

また、選挙管理委員会発足の記事において、選挙管理委員長の深津智子さんのクラスが21Fとなっておりましてが21Gの誤りでした。深くお詫ひ申し上げます。

「一、あなたは現在、部門・同好会・サークル及び委員会などの団体に所属していますか?」という質問に対しては、男子は学術・サークル・体育、女子はサークル・委員会・学術の順に多かった。男女共にサークルは自由で楽しいというイメージが強かったのか、他に比べて人気が集まったよう

「二、幾つ入っていますか?」という質問に対しては、男子の六九パーセント、女子の五八パーセントが一つだけと答えている。その一方で女子は二つ以上の部門に所属している人の割合も多く、積極的に大学生活を楽しもうとする姿勢がうかがわれる。

「三、クラブ・委員会などに入った理由は?」という質問に対して、男女共に「やりたかったから」と答えた人が半数近くいた。しかし、その反面「なんとなく」と答えた人も多かった。大学に入ったばかりでやりたい事がはつきりせず、とりあえず入ってみようと考えた結果である。他には「雰囲気が良い」「友達が多いから」なども見られた。一方、無所属の人も八パーセントいた。入らなかった理由は、「忙しすぎる」「面倒だから」「資金不足」「家が遠い」など様々であった。

「四、入った後の満足度はどうですか?」という質問に

## 行事予定

六月十二日(水) 学内展  
十九日(水)

だいたい気温が上がってまいりました。暑くなってくると人間はうだりますが、虫は元気になるようです。部屋裡でも蚊が出るようになってきました。腫れたりかゆくなったりしければ、血液がすぐにかゆいでもあける、血液が。かゆいといえは近ごろ体のあちこちががぶれてしまいました。困ったことに、思い当たる事が多すぎて何が原因なのか分かりません。(海月)

## 編集後記

「一、あなたは現在、部門・同好会・サークル及び委員会などの団体に所属していますか?」という質問に対しては、男子は学術・サークル・体育、女子はサークル・委員会・学術の順に多かった。男女共にサークルは自由で楽しいというイメージが強かったのか、他に比べて人気が集まったよう

「二、幾つ入っていますか?」という質問に対しては、男子の六九パーセント、女子の五八パーセントが一つだけと答えている。その一方で女子は二つ以上の部門に所属している人の割合も多く、積極的に大学生活を楽しもうとする姿勢がうかがわれる。

「三、クラブ・委員会などに入った理由は?」という質問に対して、男女共に「やりたかったから」と答えた人が半数近くいた。しかし、その反面「なんとなく」と答えた人も多かった。大学に入ったばかりでやりたい事がはつきりせず、とりあえず入ってみようと考えた結果である。他には「雰囲気が良い」「友達が多いから」なども見られた。一方、無所属の人も八パーセントいた。入らなかった理由は、「忙しすぎる」「面倒だから」「資金不足」「家が遠い」など様々であった。

「四、入った後の満足度はどうですか?」という質問に